

感染症発生状況

平成31年2月20日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成31年2月12日（火）～2月15日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,716名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】394名 【職員】24名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】98名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数128名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状：熱（182名）、咳・鼻水（48名）、嘔気・嘔吐（19名）、下痢・腹痛（17名）

疾病別：インフルエンザ（125名）、溶連菌感染症（15名）、胃腸炎（8名）、気管支炎・肺炎（5名）

【職員】症状：熱（6名）、下痢・腹痛（1名）

疾病別：インフルエンザ（15名）、胃腸炎（1名）

インフルエンザが半減して、水痘、溶連菌感染症、リンゴ病が流行中です。例年、今後はインフルエンザB型が流行します。注意しましょう。

数字としてはわずかですが、ウイルス性胃腸炎があります。職員の対策が必要です。

【症状別の発生状況】

インフルエンザ 厨川、河北、河南、都南地域で減少。玉山、盛南地域で増加しました。

溶連菌感染症 厨川、盛南、河南、都南地域で減少しました。

胃腸炎 都南地域で減少しました。

気管支炎・肺炎 河南地域で減少。厨川地域で増加しました。

【県の状況（2/4～2/10）】

インフルエンザは、前週より減少したが高いレベルで流行が続いています。中部及び宮古地区で警報値（定点あたり患者数30人）を超え、他の8地区で注意報値（同10人）を超えています。年齢層別では60歳以上が15%を占め例年より多くなっています。医療、福祉施設への持ち込みを防ぐため、症状がみられる場合は訪問を自粛するなどの対策が重要です。予防にはこまめな手洗いや体調管理、咳エチケットによる感染拡大防止が重要です。

伝染性紅斑（リンゴ病）は、1月上旬をピークに3週続けて減少しました。久慈地区では昨年11月中旬より流行が続いており、この週も警報値（同2人）を超え増した。妊婦の方は感染すると胎児に影響することがあるので注意が必要です。

感染性胃腸炎は、盛岡市の保育園でノロウイルスによる集団感染事例が報告されました。予防には石けんと流水による十分な手洗いと、患者の吐物や便の処理に使い捨ての手袋やマスクを着用し、塩素系薬剤を用いることが重要です。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】